



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 株式会社やまや 上場取引所 東
 コード番号 9994 URL <http://www.yamaya.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 社長執行役員（氏名）山内 英靖
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員経理部長 （氏名）田原口 裕基 TEL 022-742-3114
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年11月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 （機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	86,237	4.3	2,330	△22.5	2,409	△18.7	1,234	△12.5
2019年3月期第2四半期	82,676	△2.8	3,007	△5.2	2,965	△7.9	1,410	0.6

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 1,397百万円（△22.1%） 2019年3月期第2四半期 1,794百万円（△8.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	113.85	—
2019年3月期第2四半期	130.08	—

（参考）EBITDA 2020年3月期第2四半期 3,724百万円（△13.6%） 2019年3月期第2四半期 4,309百万円（△8.1%）

*EBITDA＝経常利益＋支払利息＋減価償却費＋のれん償却額

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	71,018	39,459	46.8
2019年3月期	71,454	38,423	45.2

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 33,270百万円 2019年3月期 32,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2020年3月期	—	23.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,000	0.1	4,500	△34.7	4,500	△35.2	2,000	△37.8	184.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	10,847,870株	2019年3月期	10,847,870株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	5,844株	2019年3月期	5,765株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	10,842,075株	2019年3月期2Q	10,842,232株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[事業全般の概況]

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に基調としては緩やかな回復が続いているものの、通商問題や中国経済の先行きなど海外の政治・経済動向の不確実性や金融資本市場の変動など、世界景気に対する警戒感が拡大し、楽観視はできない状況で推移いたしました。

酒販・外食業界におきましても、個人の消費マインドは緩やかな回復傾向にあるものの、依然として根強い消費者の節約志向の中、人手不足を背景にした人件費の上昇、原材料価格・エネルギー価格の高止まりなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)における当社グループ連結業績は、売上高862億37百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益23億30百万円(同22.5%減)、経常利益24億9百万円(同18.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益12億34百万円(同12.5%減)となりました。

売上高につきまして、酒販事業では消費税の増税前の9月にビール等の買い置き需要、仮需が起り2.1%増収となりました。外食事業では連結子会社のチムニー株式会社は、大型連休による東京圏離れ、7月の東海、関東の天候不順により4.7%減収となったものの、昨年12月1日より株式会社つば八が連結対象となり10.7%増収となりました。

当第2四半期末において、酒販事業332店(前年同期比3店増)、外食事業974店(同227店増)、グループ合計店舗数1,306店(同230店増)を運営しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[酒販事業]

酒販事業につきましては、売上高は621億87百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は、19億21百万円(同7.4%減)となりました。売上総利益は124億87百万円(前年同期比1.4%増)となり、1億67百万円増加いたしましたが、フレックス給与、ポイント販促費等が増加したことで、販管費は105億66百万円(同3.1%増)と3億19百万円増加した結果、上記、営業利益が1億52百万円減少いたしました。

新規出店として、青森桜川店、弘前樹木店(青森県)、能代店(秋田県)、気仙沼上田中店(宮城県)、那珂湊店(茨城県)の5店に加え、前期に旧店を閉店し、移転となる柳生店(宮城県)と江刺店(岩手県)の2店、計7店を開店しました。うち青森桜川店、弘前樹木店、気仙沼上田中店はダイソー併設店舗です。

2019年9月末における酒販事業の総店舗数は332店(前年同期比3店増)となりました。

[外食事業]

外食事業につきましては、売上高は248億円(前年同期比10.7%増)、営業利益は、4億2百万円(同56.8%減)となりました。連結子会社のチムニー株式会社では、大型連休による東京圏離れ、7月の東海、関東の天候不順により4.7%減収となったものの、昨年12月1日より株式会社つば八が連結対象となり10.7%増収となりました。2019年9月末のつば八の直営店数は46店、フランチャイズ店は195店となっております。2019年9月末の飲食直営店は、516店(前年同期比48店増)、飲食FC店は、458店(同179店増)となり、飲食店の総店舗数は、974店(同227店増)となりました。

外食業界においては、お客様の選別志向は厳しく、原材料価格の上昇や人手不足の影響に加え、他業種を含めた競争の激化など、引き続き厳しい状況にあります。

このような中、価値あるものを提供するため、食の六次産業化の深耕と地産地消・地産全消の継続的推進とともに、「食」と「酒」のベストバランスの実現で食の総合サービス産業の発展にも取り組んでいます。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

財政状態

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて4億36百万円(△0.6%)減少し、710億18百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が86百万円増加し、商品及び製品が99百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて9億82百万円(3.1%)増加し、325億24百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて14億19百万円(△3.6%)減少し、384億93百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて14億72百万円(△4.5%)減少し、315億58百万円となりました。

流動負債は、買掛金で2億13百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて10億89百万円(△4.0%)減少し、263億87百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて3億82百万円(△6.9%)減少し、51億71百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて10億35百万円(2.7%)増加し、394億59百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の45.2%から46.8%となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて86百万円(0.9%)増加し、97億21百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は、前年同期と比べて4億1百万円(45.1%)増加し、12億93百万円となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益が24億21百万円、減価償却費が9億62百万円、未収入金の減少が2億8百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で得られた資金は、前年同期と比べて10億2百万円(前年同期は使用した資金8億41百万円)増加し、1億61百万円となりました。

主な要因は、有形固定資産の売却による収入で9億10百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は、前年同期と比べて15億79百万円(前年同期は得られた資金2億11百万円)減少し、13億68百万円となりました。

主な要因は、短期借入金の純減少が3億円、長期借入金の返済が5億63百万円、配当金の支払が2億38百万円、非支配株主への配当金の支払が1億7百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では2019年10月23日公表した数値からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,649	9,736
売掛金	4,407	5,122
商品及び製品	15,116	15,215
仕掛品	82	82
原材料及び貯蔵品	46	45
前払費用	989	1,042
その他	1,437	1,535
貸倒引当金	△188	△254
流動資産合計	31,542	32,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,853	35,706
減価償却累計額	△27,594	△27,208
建物及び構築物(純額)	9,259	8,497
機械装置及び運搬具	2,910	1,920
減価償却累計額	△2,666	△1,762
機械装置及び運搬具(純額)	243	157
工具、器具及び備品	9,437	9,501
減価償却累計額	△8,499	△8,565
工具、器具及び備品(純額)	937	935
リース資産	2,274	2,288
減価償却累計額	△1,657	△1,749
リース資産(純額)	617	538
土地	5,037	4,727
建設仮勘定	18	48
有形固定資産合計	16,113	14,905
無形固定資産		
ソフトウェア	9	59
のれん	10,128	9,779
その他	30	29
無形固定資産合計	10,169	9,868
投資その他の資産		
投資有価証券	1,169	1,157
関係会社株式	734	702
破産更生債権等	110	130
長期前払費用	170	181
差入保証金	9,878	9,821
退職給付に係る資産	31	37
繰延税金資産	1,491	1,664
その他	98	122
貸倒引当金	△54	△98
投資その他の資産合計	13,629	13,719
固定資産合計	39,912	38,493
資産合計	71,454	71,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,670	10,456
短期借入金	8,100	7,800
1年内返済予定の長期借入金	793	435
リース債務	182	169
未払金	2,724	2,167
未払費用	1,053	958
未払法人税等	1,239	1,346
未払消費税等	602	493
預り金	460	438
賞与引当金	886	811
その他	763	1,311
流動負債合計	27,476	26,387
固定負債		
長期借入金	295	90
退職給付に係る負債	277	286
リース債務	454	393
役員退職慰労引当金	595	553
資産除去債務	1,719	1,710
その他	2,212	2,138
固定負債合計	5,554	5,171
負債合計	33,030	31,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,813	5,798
利益剰余金	23,114	24,110
自己株式	△7	△7
株主資本合計	32,167	33,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	121
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	156	122
非支配株主持分	6,100	6,189
純資産合計	38,423	39,459
負債純資産合計	71,454	71,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	82,676	86,237
売上原価	55,294	57,341
売上総利益	27,381	28,896
販売費及び一般管理費	24,374	26,566
営業利益	3,007	2,330
営業外収益		
受取利息	5	6
受取手数料	37	39
受取配当金	11	12
持分法による投資利益	—	8
その他	44	79
営業外収益合計	97	146
営業外費用		
支払利息	6	2
店舗改装費用	26	26
店舗閉鎖損失	2	7
災害による損失	—	14
持分法による投資損失	7	—
その他	97	15
営業外費用合計	140	66
経常利益	2,965	2,409
特別利益		
固定資産売却益	2	159
受取補償金	26	68
その他	—	3
特別利益合計	28	230
特別損失		
固定資産売却損	2	50
固定資産除却損	—	0
減損損失	167	165
その他	2	2
特別損失合計	172	218
税金等調整前四半期純利益	2,821	2,421
法人税、住民税及び事業税	1,103	1,145
法人税等調整額	△15	△158
法人税等合計	1,087	987
四半期純利益	1,733	1,434
非支配株主に帰属する四半期純利益	323	199
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,410	1,234

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,733	1,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	△36
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	61	△36
四半期包括利益	1,794	1,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,489	1,200
非支配株主に係る四半期包括利益	305	197

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,821	2,421
減価償却費	1,008	962
長期前払費用償却額	30	29
減損損失	167	165
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△108
受取補償金	△26	△68
のれん償却額	329	349
持分法による投資損益 (△は益)	7	△8
支払利息	6	2
受取利息及び受取配当金	△16	△18
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20	110
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△186	△75
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5	△42
未収入金の増減額 (△は増加)	△26	208
売上債権の増減額 (△は増加)	122	△714
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△465	△96
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,106	△213
その他	200	△797
小計	2,883	2,110
利息及び配当金の受取額	13	15
補償金の受取額	26	68
利息の支払額	△6	△2
法人税等の支払額	△2,025	△894
その他	△0	△3
営業活動によるキャッシュ・フロー	891	1,293
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△817	△633
有形固定資産の売却による収入	12	910
長期前払費用の取得による支出	△23	△33
差入保証金の差入による支出	△113	△223
差入保証金の回収による収入	162	209
その他	△61	△67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△841	161
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,200	△300
長期借入金の返済による支出	△1,363	△563
リース債務の返済による支出	△111	△93
割賦債務の返済による支出	△166	△48
自己株式の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△28
子会社の自己株式の取得による支出	△0	—
子会社の自己株式の処分による収入	—	12
配当金の支払額	△238	△238
非支配株主への配当金の支払額	△107	△107
財務活動によるキャッシュ・フロー	211	△1,368
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	262	86
現金及び現金同等物の期首残高	10,017	9,634
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,279	9,721

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,262	22,413	82,676	—	82,676
セグメント間の内部 売上高又は振替高	629	0	629	△629	—
計	60,892	22,413	83,305	△629	82,676
セグメント利益	2,073	931	3,005	2	3,007

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において8百万円、「外食事業」において159百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,437	24,800	86,237	—	86,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	749	0	749	△749	—
計	62,187	24,800	86,987	△749	86,237
セグメント利益	1,921	402	2,323	6	2,330

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「外食事業」において165百万円であります。